

このす民報

議会報告版

2019年8月号 第404号

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団

竹田えつ子 すわみつえ

☎542-7072 ☎507-4151
FAX542-7101 FAX596-9440

参議院選挙
埼玉選挙区

伊藤岳候補が初当選!

日本共産党7議席獲得

7月21日投開票で行われた参議院議員選挙で、日本共産党と、野党統一候補に寄せられた、有権者のみなさんのご支持に心から感謝いたします。

埼玉選挙区では、日本共産党の伊藤岳候補が、359,297票を得て当選しました。比例代表で4議席、東京・埼玉・京都の選挙区で議席をかちとり、計7議席となりました。

参議院選挙の全体の結果できわめて重要なのは、自民・公明・維新などの改憲勢力が、改憲発議に必要な3分の2を割ったことです。

安倍首相は、この結果を受けてもなお、総裁任期中に改憲を実現するとしています。参院選で示された「3分の2割れ」という審判は、「期限ありきの性急な改憲の動きは賛成できない」という民意を示したものにほかなりません。

市民と野党の共闘が前進

この結果をつくるうえで、市民と野党の共闘は決定的役割を果たしました。全国32の1人区のすべてで野党統一候補を実現し、10選挙区で大激戦を制して勝利しました。野党が、1人区で改選2議席

参院選埼玉選挙区の結果

当	古川俊治	自民	786,479
当	熊谷裕人	立民	536,338
当	矢倉克夫	公明	532,302
当	伊藤 岳	共産	359,297
次	宍戸千絵	国民	244,399
	沢田 良	維新	204,075
	佐藤恵理子	N国	80,741

公約実現に全力をあげます

この成果を踏まえ、市民と野党の共闘をさらに大きく発展させ、新しい政治をつくるために力をつくす決意です。

日本共産党は公約で掲げた、「消費税10%への増税中止」「減らない年金制度」「学費無償化・返済不要の奨学金制度」「国保税の軽減」「憲法を生かした平和外交」「原発ゼロ再生可能エネルギーへの転換」実現のため全力で頑張ります。

公約実現に全力でがんばります

参議院議員
伊藤 岳



消費税増税しないことが一番の軽減対策

2019年10月から、消費税の増税を公約している安倍政権ですが、国民の半数以上は増税に反対しています。

こうした中で、6月議会には、消費税増税を前提とした地方税の改正、介護保険料の改正、それに伴うシステム改修費などの補正予算が出されました。

所得の少ない方への軽減とするならば、消費税の逆進性を認めたこととなります。軽減のために税金を使うより、消費税増税をしないことが、一番市民のくらしを守ることにすると、日本共産党は主張しました。

公園整備に総額1億5463万円も

6月議会で一般会計の補正予算について審議しました。赤見台第一小学校のトイレ改修工事をはじめ、中学校給食センター整備費などが計上されました。

一方で、(仮称)駅通り地区街区公園整備事業費が正が5463万円も追加されました。

この公園は、駅入り口交差点角の仲仙道に面した場所、お祭りやイベントの開催、災害時の一時(いっつき)集合場所として活用できる広場としています。

法律にそった手続きを!

(仮)街区公園整備事業は、当初の公園整備面積より23㎡少なくなっています。こうした場合、事業計画の変更を縦覧し、しかるべき手続きが必要と都市再開発法には謳っています。

2018年4月に、事業計画の変更の縦覧を行うことを、組合の総会で決定しているにも関わらず、また縦覧という法的手続きもありません。公園整備の設計図や税金投入まで決定しています。法を遵守すべき、市の姿勢が問われると思います。

公園の特徴として、コウノトリをモチーフとしたモニュメント、鉄筋コンクリート造りのトイレ、その横に四阿(あずまや)を造る予定です。そして、敷地にはLEDライトを120個も埋め込む設計になっています。このライトは1個2・7万円とされています。すわみつえ議員が、四阿とトイレの場所や噴水デッキの場所の変更について、竹田えつ子議員は、LEDライト120個の必要性や何故埋め込むのか質疑しました。議会案件であるにも関わらず、議会の意見で変更できるのか質しましたが、変更できると明確な答弁はありませんでした。

法律・生活相談

毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ

本当がわかる
明日が見える

しんぶん 赤旗

●日刊紙/月3,497円
●日曜版/月930円



憲法、社会保障、原発、雇用、TPP...
「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。



竹田えつ子議員

中央公民館の建て替えは？ 新ごみ処理施設整備費の総額は？

労働環境をよくするために 公契約条例の制定を！

建設現場は、重層下請けの構造になっているだけに、地方自治体が発注する公共工事の下請けで働く労働者の労賃を確保し、労働環境をよくするために、市として公契約条例を制定することを求めました。

市は、新担い手3法が制定されており、国の政策として賃金や労働環境対策の取り組みが進んでいることから、公契約条例の制定については、国の動向を注視していきたいとしました。

引き続き働く方々の労働環境をよくするために力を尽くしていきます。

公共施設のPFI方式 (民間投資)はやめること

中央公民館と児童センターなどの建て替えと運営について、市はPFI方式で行えるかどうか調査検討しています。どんなモデルプランであるか質問しました。

PFI方式の基本は、公共施設の整備を、新たなビジネスチャンスとして、民間投資による経済成長を実現していくことを目的に、内閣総理大臣が一元的にまとめていくものです。

市の答弁は、貸会議室、カフェスタンドなどで収益を出しながら、PFI方式でできるか検討していきたいとしました。

本来児童センターは利用料が無料の施設であり、公民館は社会教育法に基づく施設です。収益を追求するようなPFI方式はやめることを求めました。そして、国がしかり、建て替えについて財政的支援を行うべきであると主張しました。

新ごみ処理施設整備費の 総額を早期に示すこと

新ごみ処理施設の建設候補地として、安養寺・郷地を推薦したのは鴻巣市です。地元市の責務として総額を早期に示すよう求めました。



すわみつえ議員

笠原小学校の存続、 フラワー号運行の見直しを

笠原小学校の 存続を求めて



笠原小学校は開校146年目を迎え、地域に根ざした小規模校です。「学校応援団」「自治会」「長寿会」の方や保護者の方々が先生とともに75名の児童を育てています。児童数が減っている中で新たに中央小への通学を認めることは、笠原小を結果的に「廃校」に向わせることだと質しました。6月22日の第4回審議会に出される答申を尊重するとの答弁でした。

第4回審議会で答申決定

鴻巣中央小に指定校変更することが妥当かどうか。に対して「妥当と決するまでに至らなかった」と答申が決定しました。笠原地域の来年度の就学児において中央小学校を希望する場合は、教育委員会が個別に対応することで、審議会委員全員の賛成で可決しました。

コミュニティバス「フラワー号」運行の 早期見直しと75歳以上無料化を

本年4月1日より、フラワー号の運行時間と路線の見直しが行われました。

そのために高齢者の外出の機会が大きく損なわれています。現行の5年に1度の見直しでは、高齢化のスピードに追いつかないため、早期に見直すよう求めました。

「デマンドタクシーを適切に組み合わせ、コミュニティバスの低料金とは比べものにならないことを訴えました。また、運転免許証返納で1年間有効の無料パスが多くの方に利用されていることから、75歳以上の高齢者に無料化することも求めました。

現在のところ見直しの考えはないとの答弁です。

高齢者の足を確保して住みよい鴻巣にするため、引き続き取り組んでまいります。



街路樹剪定の業者依頼は 仕様書作成のもとで行うこと

市の街路樹は、2〜3年の周期で業者に剪定を委託をしています。通行などに支障のある枝は都度、職員が剪定を行っています。業者との打ち合わせの際に、樹形を考慮し、また温暖化対策としても樹

木の特性を生かした剪定方法となるよう仕様書を作成して委託することを求めました。

街路樹に求められている機能を果たすよう、適切な維持管理に努めるとの答弁でした。



鴻巣駅東口駅通り地区再開発 に32億円もの税金を投入

鴻巣駅東口駅通り地区の再開発事業の資金計画と税金がいくら使われているのか質問しました。

組合の資金計画では、約76億円であり、その内税金は約32億円であると答弁しました。貴重な税金の使い方をしっかり質していきます。

他に、通学路の防犯灯の増設、通学路の道路標示の改善について質問しました。